大村市上下水道事業中期経営計画

（平成２８年度～平成３２年度）

の進捗状況について（報告）

令和２年９月

大村市上下水道局

１　進捗状況の概要について

⑴はじめに

大村市上下水道局は、利用者の皆様から信頼される公営企業としての責務を遂行し、安定的な経営を確保するため、平成２８年度から令和２年度までを計画期間とする「大村市上下水道事業中期経営計画」（以下「中期経営計画」という。）に基づき、健全な事業運営に努めています。

今回、令和元年度決算認定の上程に際し、改善項目の実施状況と計画値と決算値とを比較することで中期経営計画の進捗状況を報告します。

⑵事業計画の実施状況

中期経営計画に掲げた事業計画については、水道事業及び下水道事業を併せた４１事業のうち４０事業は事業の実施完了または継続実施中で、１事業は計画見直しを行っており、概ね予定どおりに進捗しています。

Ⅰ　水道事業

事業計画の進捗状況の一覧表を４ページに、詳細を５ページから１０ページにかけて記載しています。

「①新規水源の開発」については、平成３０年９月に策定した中期経営計画の変更計画において、休止していた松原水源に高度浄水処理を導入することにより、水道水源を確保し水源余裕率の向上を図ることとしました。令和元年度は、浄水処理施設の建築工事及び場内整備工事を行いました。

事業計画で重要な「⑤管路の計画的更新」について、１９路線、5.21㎞、工事費3億1,400万円を実施しました。

「⑯送水ポンプ所の廃止」については、当該施設が緊急時の補助施設として活用できると判断し、計画の見直しを行い存続することとしました。

Ⅱ　下水道事業

事業計画の進捗状況の一覧表を１３ページに、詳細を１４ページから１７ページにかけて記載しています。

「①未整備区域の下水道整備促進」については、新幹線新駅周辺等宅地開発に合わせた未普及地域へ延長1.4㎞、工事費3億2,300万円（翌年度繰越工事含む。）の汚水管整備を行いました。

「④設備の計画的更新」については、ストックマネジメント計画に基づき、令和３年までの工期で大村浄水管理センター汚泥脱水機械・電気設備改築工事を着工しました。

「⑧高度処理施設の導入」については、令和２年３月に供用を開始しました。

(3) 中期経営計画財政収支状況

Ⅰ　水道事業（Ｐ１１）

収益的収支の給水収益が計画に比べ 0.8%減となりました。これは、近年続く少雨等の影響もあり節水意識の高まりが一要因であると考えられます。

費用については、修繕費の増等により計画に比べ 1.1%増となりましたが、単年度純利益は、計画に比べ 20.6%増の 3 億 1,809 万円となりました。

資本的収支においては、浄水施設等更新工事や配水管敷設工事の増による支出額増のため、計画に比べ 38.4%増の企業債借入を行ったことにより、補塡財源残高は 9 億 6,491 万円となりました。

また、8 億 3,357 万円の元金償還により、令和元年度末の企業債残高は約 105 億円となっています。

Ⅱ　下水道事業（Ｐ１８）

収益的収支の収入については、水洗化人口の増により有収水量が増加し、使用料収入が計画に比べ 1.3%の増となっています。

費用については、修繕費等の維持管理費や減価償却費の減等により計画に比べ 3.9%の減となりました。この結果、単年度純利益が計画に比べ 37.1%増の 4 億 9,137 万円となりました。

資本的収支における不足額は、新幹線建設事業等に係る汚水管布設及び移設工事の増や処理場改築工事により計画に比べ 12.4%増となりましたが、補塡財源残高は計画に比べ 30.0%増の 19 億 7,090 万円となりました。

また、企業債残高については令和元年度末で約 128 億円となっています。

Ⅰ　水道事業

水道事業中期経営計画　事業進捗状況

◎ 実施完了　○ 実施中　△ 検討等を行った　× 実施できなかった　－ 該当なし

施策の方向性・重点施策・事業計画一覧

施策の方向性（基本目標）	重点施策	事業計画	事業費（百万円）（5か年）		進捗状況 H28	H29	H30	R1	R2	備考
1 安定的な水源を確保し、安全でおいしい水を供給します。	1 水道水源の確保	①新規水源の開発	632		○	○	○	○		
		②少雨対策への取組	－		○	○	○	○		
		③民営水道の統合	151		－	－	－	○		
	2 水道水源の水質管理	④水質検査機器の更新	23		○	○	○	○		
2 適正な施設更新や危機管理により、安定した水の供給に努めます。	1 計画的な施設更新	⑤管路の計画的更新	1,529	◆拡充事業	○	○	○	○		
		⑥設備の計画的更新	1,006	◆拡充事業	○	○	○	○		
	2 耐震化の推進	⑦管路の耐震化	管路更新等に含む	◆拡充事業	○	○	○	○		
		⑧施設の耐震化	25	★新規事業	－	－	－	○		
		⑨上下水道局BCPの策定	－	★新規事業	△	△	△	○		
3 環境に配慮した事業運営に努めます。	1 環境に配慮した設備の導入促進	⑩省電力機器の導入	－		△	○	○	○		
		⑪小水力発電設備の設置	119	★新規事業	○	◎	◎	◎		
4 適正な業務運営と維持管理に努めます。	1 適正な業務運営	⑫最適運営形態の検討	－		○	○	○	○		
		⑬収納率の向上	－		○	○	○	○		
	2 適正な維持管理	⑭水源の休止	△70	★経費削減	○	◎	◎	◎		
		⑮地下水源の適正管理	△20	★経費削減	○	○	○	◎		
		⑯送水ポンプ所の廃止	△6	★経費削減	－	△	△	×		計画の見直し
		⑰簡易水道の統合による維持管理費の削減	△82	★経費削減	－	◎	◎	◎		
		⑱漏水調査及び修繕の実施	237		○	○	○	○		
	3 人材育成	⑲人材育成方針の策定	－	★新規事業	△	△	◎	◎		
5 サービスの向上と経営の安定に努めます。	1 お客様のニーズに合ったサービスの充実	⑳積極的な情報発信	0.4		○	○	○	○		
		㉑公共施設への冷水器設置	2		○	○	○	○		
		㉒小学4年生対象パンフレットの充実	0.4	◆拡充事業	○	○	○	○		
		㉓旧武部配水池環境整備事業（仮称）	25	★新規事業	○	◎	◎	◎		
	2 経営基盤の強化	㉔中期経営計画の実施	－		○	○	○	○		

★新規事業、◆拡張事業は、前回計画(H24～H28)からの新規、拡張事業となります。

◎	0件	4件	5件	6件		
○	17件	15件	15件	17件		
△	3件	3件	2件	0件		
×	0件	0件	0件	1件		
－	4件	2件	2件	0件		

事業計画の進捗状況について（水道事業）

1　安定的な水源を確保し、安全でおいしい水を供給します。

（1）水道水源の確保

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
①新規水源の開発	新規水源を開発し、水源余裕率の向上を図ります。	R2 水源余裕率　40.0% H28～R2 事業費　6億7,400万円	○実施中
			H28　水源余裕率37.2% 9,200万円 （鬼橋第２水源） （翌年度繰越工事を含む）
			H29　水源余裕率36.3% 500万円 （鬼橋第２水源）
			H30　水源余裕率37.1% 2,500万円 （松原浄水場、東大村地区水源探査）
			R1　水源余裕率28.6% 1億3,400万円 （松原浄水場高度処理施設整備）
②少雨対策への取組	渇水連絡協議会等を通じて少雨対策に取り組みます。	H28～R2	○実施中
			H28　郡川水系渇水連絡会議を長崎県と関係機関で実施した。
			H29　郡川水系渇水連絡会議を長崎県と関係機関で実施した。 その後、萱瀬ダムの貯水率が50%を下回ったため取水量30%制限を行った。
			H30　郡川水系渇水連絡会議を長崎県と関係機関で実施した。 その後、萱瀬ダムの貯水率が60%を下回ったため取水量30%制限を行った。
			R1　郡川水系渇水連絡会議を長崎県と関係機関で実施した。 その後、萱瀬ダムの貯水率が70%を下回ったため取水量30%制限を行った。
③民営水道の統合	飲料水供給組合の水道事業への統合を進めます。	R1～R2 事業費１億5,100万円	○実施中
			R1　900万円 （野田地区統合に伴う管路詳細設計）

（2）水道水源の水質管理

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
④水質検査機器の更新	水質検査機器の適正な更新を行います。	H28～R2 9基 事業費　2,300万円	○実施中
			H28　3基　900万円 （更新機器） 処理水有試薬残留塩素計　他
			H29　3基　80万円 （更新機器） PH計　他
			H30　1基　70万円 （更新機器） 残留塩素計
			R1　1基　500万円 （更新機器） 残留塩素計

２　適正な施設更新や危機管理により、安定した水の供給に努めます。

(1)計画的な施設更新

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑤管路の計画的更新	大村市水道事業管路更新計画(H28～H32)に基づき、年間6kmを基本として管路更新を行います。	R2 管路更新率1.1% H28～R2 管路更新　30.0km 事業費　15億2,900万円	○実施中 H28　6.12km　3億600万円　24路線 (翌年度繰越工事を含む) H29　5.92km　3億2,500万円　19路線 H30　5.73km　3億3,600万円　15路線 (翌年度繰越工事を含む) R1　5.21km　3億1,400万円　19路線 (翌年度繰越工事を含む)
⑥設備の計画的更新	早急に更新が必要な設備の更新を行うとともに、アセットマネジメントの考え方を導入した更新計画を策定します。	H28～R2 事業費　10億600万円	○実施中 H28　3,800万円 ・水道施設ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ導入基本計画 ・坂口浄水場NO.4ろ過池電動弁 H29　2億4,400万円 ・坂口浄水場中央監視設備 ・坂口浄水場NO.7ろ過池電動弁 H30　3億4,900万円 ・坂口浄水場中央監視設備 ・坂口浄水場沈澱池設備2系-1汚泥掻寄機更新　他 R1　6,200万円 ・坂口浄水場沈澱池設備2系-2汚泥掻寄機更新 ・南川内施設テレメータ設備更新

(2)耐震化の推進

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑦管路の耐震化	管路の新設及び更新を行う際に、耐震管を採用し、耐震化率の向上を図ります。	H28～R2 管路耐震化率 R2　15.0%	○実施中 H28　耐震化率＝9.5% 管路総延長　L＝534,310m 耐震管延長　L＝　50,571m H29　耐震化率＝11.2% 管路総延長　L＝537,481m 耐震管延長　L＝　60,151m H30　耐震化率＝12.9% 管路総延長　L＝542,070m 耐震管延長　L＝　69,922m R1　耐震化率＝14.6% 管路総延長　L＝545,248m 耐震管延長　L＝　79,670m
⑧施設の耐震化 ★新規事業	施設の重要度及び緊急度を考慮した耐震化計画を策定します。	R2 計画の策定 R1～R2 事業費　2,500万円	○実施中 H28　資料の収集及び整理 H29　資料の収集及び整理 H30　施設耐震化計画作成業務委託の準備 R1　坂口浄水場耐震補強等実施設計　8,100万円
⑨上下水道局BCPの策定 ★新規事業	上下水道局BCPを策定するとともに、個別の危機管理マニュアルを策定します。	H28 計画の策定	○実施中 H28　他市の策定状況の調査研究を行った。 H29　研修の参加と情報収集を行っ H30　計画案を協議した。 R1　計画策定中

３　環境に配慮した事業運営に努めます。

(1)環境に配慮した設備の導入促進

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑩省電力機器の導入	省エネルギー対策機器を導入し、電力消費量の削減を図ります。	H28～R2	○実施中 H28　該当機器なし H29　・坂口浄水場フロキュレータ用原動モーター取替 20万円 H30　・坂口浄水場事務所照明設備 27万円 R1　・該当機器なし
⑪小水力発電設備の設置 ★新規事業	坂口浄水場において、萱瀬ダムからの水道管路に小水力発電設備を設置し、再生可能エネルギーの導入を推進します。	H28～H29 事業費　1億1,900万円 年間発電量28万kwh	◎実施完了 H28　導入に向けた基本方針の決定 ＜決定事項＞ （導入方式） 公設公営 （入札方式） 公募型プロポーザル方式 （発注内容） 実施設計，施工，国及び電力会社等許認可手続き１式 H29　小水力発電設備設置工事 9,900万円 【事業概要】 〈総事業費〉 1億1,300万円 （維持管理費等を含む） 〈売電期間〉 20年間（H30．4～H50．3） 「固定価格買取制度(FIT)活用」 〈売電計画〉 全量売電 〈設備内容〉 小水力発電設備の新設 通常出力…32.9kw 最大出力…49.0kw 年間発電量　約27.4万kwh 〈売電価格〉 34円/kwh（税抜） 〈売電収入額〉 900万円/年 〈発電開始〉 平成30年4月2日 〈CO2削減量〉 約132ｔ/年 〈収益額〉 7億2,400万円（20年間） H30　発電開始日：平成30年4月2日 発電量　28万3千kwh 収益額　1,000万円 R1　発電量　34万4千kwh 収益額　1,200万円

４　適正な業務運営と維持管理に努めます。

(1)適正な業務運営

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑫最適運営形態の検討	最適な運営形態のあり方について検討し、組織の見直しを行います。	H28～R2	○実施中
			H28　効率的な運営を行うため、水道工務課内の給水グループと維持グループを統合した。
			H29　次期料金業務委託の業務内容の検討を行った。
			H30　次期料金業務委託をプロポーザル方式により業者決定した。
			R1　料金業務委託のR1から5か年の委託を実施した。
⑬収納率の向上	大村市債権管理条例に基づき、適正な債権管理を行い収納率の向上を図ります。	H28～R2 R2収納率　99.3%	○実施中
			H28　収納率　99.3%
			H29　収納率　99.3%
			H30　収納率　99.3%
			R1　収納率　99.3%

(2)適正な維持管理

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑭水源の休止	水需要予測や費用対効果を勘案し、取水能力が低下した水源や小規模で効率が悪い水源を休止します。	H28～H29 5か所	◎実施完了
			H28　休止水源 小路口水源、鬼橋水源、 日岳水源 削減額　△300万円
			H29　休止水源 富の原第1水源、 富の原第3水源 削減額　△60万円
⑮地下水源の適正管理	取水能力回復のための改修工事について適正な維持管理を行います。	H28～R2 5か所	◎実施完了
			H28　福重水源 （内部ｶﾒﾗ調査、揚水試験、洗浄による改修）
			H29　杭出津第3水源 （内部ｶﾒﾗ調査、洗浄によるリフレッシュ工事、揚水試験）
			H30　大多武第5水源 （内部ｶﾒﾗ調査、洗浄によるリフレッシュ工事、揚水試験）
			R1　富の原第2水源、 立花水源 （内部ｶﾒﾗ調査、洗浄によるリフレッシュ工事、揚水試験）
⑯送水ポンプ所の廃止	配水エリアの見直しを行い、送水ポンプ所を廃止し、効率的な配水を行います。	H29 1か所	×計画見直し
			H28　須田ノ木送水ポンプ所 水系切替に係る給水管調査と切替に期間を要し延期とした。
			H29　断水時に木場配水池へ補水する補助施設となっており、今後緊急時の対応施設として検討を要する。
			H30　個人給水への影響戸数の確認を実施した。 緊急時の補助施設として検討を要する。
			R1　緊急時の補助施設として有効な施設であるため、存続する計画への見直しを行った。

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑰簡易水道の統合による維持管理費の削減	簡易水道事業と水道事業との統合による業務の見直しにより人員削減を行うなど、維持管理費を削減します。	H29～R2 久良原水源の廃止 職員１名削減 8,200万円	◎実施完了 H29　簡易水道事業と水道事業との統合により、職員を1名削減 給与費削減額　△800万円 久良原水源廃止等△1,000万円
⑱漏水調査及び修繕の実施	漏水危険度の高いエリアから効率的に漏水調査を行い、水道管路の修繕及び管路更新計画へ反映します。	R2 有収率90%以上 H28～R2 事業費　2億3,700万円	○実施中 H28　有収率 90.7% 【漏水調査】900万円 管路調査　L＝44ｋｍ 戸別音聴調査　N＝25,996戸 【配水管等修繕】3,500万円 修繕件数　N＝278か所 送水管塗装　N＝　1か所 H29　有収率 88.7% 【漏水調査】900万円 管路調査　L＝55ｋｍ 戸別音聴調査　N＝26,565戸 【配水管等修繕】3,800万円 修繕件数　N＝319か所 配水管塗装　N＝　2か所 H30　有収率 88.5% 【漏水調査】1,800万円 管路調査　L＝109ｋｍ 戸別音聴調査　N＝30,400戸 【配水管等修繕】4,200万円 修繕件数　N＝334か所 配水管塗装　N＝　3か所 R1　有収率 87.3% 【漏水調査】2,400万円 管路調査　L＝200ｋｍ 戸別音聴調査　N＝32,800戸 【配水管等修繕】4,800万円 修繕件数　N＝320か所

(3)人材育成

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑲人材育成方針の策定 ★新規事業	職員の経営能力及びトータル的な技術力を向上させるため、上下水道局独自の人材育成方針を策定します。	H28 計画の策定	◎実施完了 H29　人材育成方針(案)を作成した。 H30　人材育成方針を作成した。

５　サービスの向上と経営の安定に努めます。

(1)お客様のニーズに合ったサービスの充実

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑳積極的な情報発信	市民の皆様の関心が高い情報について、積極的な情報発信を行います。	H28～R2 HP更新:年4回 広報誌掲載：年4回	○実施中
			H28　ＨＰ更新　：年4回 広報誌掲載：年4回
			H29　ＨＰ更新　：年4回 広報誌掲載：年5回
			H30　ＨＰ更新　：年4回 広報誌掲載：年4回
			R1　ＨＰ更新　：年4回 広報誌掲載：年4回
㉑公共施設への冷水器設置	安心して飲める水道水をPRするために、公共施設に冷水器を設置します。	H28～H29 10台	○実施中
			H28　2台　60万円 市営野球場 市営テニスコート
			H29　2台　30万円 坂口浄水場 武部配水池(構内整備工事にて設置)
			H30　1台　30万円 浄水管理センター
			R1　2台　40万円 ミライon 福重出張所
㉒小学4年生対象パンフレットの充実 ◆拡充事業	小学4年生を対象としたパンフレットを見直し、水に関する関心を高めます。	H28～R2 1,200冊／年	○実施中
			H28　内容を見直し5か年分を作成 市内小学校配布 1,055冊/年
			H29　市内小学校配布 1,186冊/年
			H30　市内小学校配布 1,007冊/年
			R1　市内小学校配布 1,039冊/年
㉓旧武部配水池環境整備事業（仮称） ★新規事業	水道事業の歴史を伝える大切な築造物として、子どもたちや地域住民が活用できるよう環境の整備を行います。	H30.4月開設 H28～H29 2,500万円	◎実施完了
			H28　140万円 （現地調査業務） 次年度実施工事に向けた、現地測量等確認調査を実施し、検討委員会を設け、整備方針など基本計画を策定した。
			H29　1,800万円 武部配水池構内整備工事、武部配水池構内整備工事に伴う重点施工監理業務委託 構内整備工事・・・1式 ①配水池本体の保存整備 ②配水池内の施設見学設備整備 ③公衆トイレの設置 ④憩いの広場の整備 ⑤冷水器の設置（水道水PR等）
			H30　平成30年4月：施設開設

(2)経営基盤の強化

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
㉔中期経営計画の実施	中期経営計画を確実に実施し、その効果を検証するとともに、結果を市民の皆様に公表していきます。	H28～R2	○実施中
			H28　進捗状況の確認を行った。
			H29　H28進捗状況を上下水道局ホームページにて公表した。
			H30　H29進捗状況を上下水道局ホームページにて公表した。
			R1　H30進捗状況を上下水道局ホームページにて公表した。

水道事業中期経営計画財政収支状況

①収益的収支（税抜き）　　（単位：千円）

区分	平成28年度	計画との比較	平成29年度	計画との比較	平成30年度	計画との比較	令和元年度	計画との比較	令和2年度
収益合計　A	(1,965,648) 1,951,243	0.7%	(2,163,874) 2,065,151	4.8%	(2,186,049) 2,060,009	6.1%	(2,202,827) 2,128,255	3.5%	(2,254,933) 2,137,908
給水収益	(1,838,217) 1,822,153	0.9%	(1,923,279) 1,881,679	2.2%	(1,933,174) 1,874,349	3.1%	(1,924,475) 1,939,915	△ 0.8%	(1,990,360) 1,948,467
長期前受金戻入	(92,343) 87,768	5.2%	(134,892) 88,922	51.7%	(139,203) 94,891	46.7%	(145,626) 101,112	44.0%	(148,807) 105,489
その他	(35,088) 41,322	△ 15.1%	(105,703) 94,550	11.8%	(113,672) 90,769	25.2%	(132,726) 87,228	52.2%	(115,766) 83,952
費用合計　B	(1,628,318) 1,682,527	△ 3.2%	(1,814,728) 1,884,637	△ 3.7%	(1,937,724) 1,864,026	4.0%	(1,884,730) 1,864,482	1.1%	(1,929,315) 1,750,410
維持管理費	(657,656) 709,502	△ 7.3%	(722,291) 802,235	△ 10.0%	(781,482) 790,565	△ 1.1%	(795,821) 795,175	0.1%	(923,619) 790,238
職員給与費	(228,193) 219,607	3.9%	(224,813) 229,168	△ 1.9%	(220,014) 229,172	△ 4.0%	(221,059) 229,175	△ 3.5%	(232,020) 229,179
修繕費等	(262,466) 293,928	△ 10.7%	(311,649) 363,187	△ 14.2%	(368,102) 351,513	4.7%	(376,070) 356,000	5.6%	(468,816) 351,178
その他経費	(166,997) 195,967	△ 14.8%	(185,829) 209,880	△ 11.5%	(193,366) 209,880	△ 7.9%	(198,692) 210,000	△ 5.4%	(222,783) 209,881
支払利息	(218,050) 221,393	△ 1.5%	(231,191) 246,025	△ 6.0%	(215,246) 234,455	△ 8.2%	(199,066) 221,420	△ 10.1%	(190,905) 210,018
減価償却費	(731,477) 739,925	△ 1.1%	(839,207) 824,670	1.8%	(838,472) 827,299	1.4%	(867,831) 836,180	3.8%	(797,263) 738,447
その他	(21,135) 11,707	80.5%	(22,039) 11,707	88.3%	(102,524) 11,707	775.7%	(22,012) 11,707	88.0%	(17,528) 11,707
純損益（△損失）	(337,330) 268,716	25.5%	(349,146) 180,514	93.4%	(248,325) 195,983	26.7%	(318,097) 263,773	20.6%	(325,618) 387,498

②資本的収支（税込み）

区　　分	平成28年度	計画との比較	平成29年度	計画との比較	平成30年度	計画との比較	令和元年度	計画との比較	令和2年度
資本的収入　C	(401,937) 574,387	△ 30.0%	(553,414) 706,113	△ 21.6%	(592,654) 614,571	△ 3.6%	(858,206) 674,780	27.2%	(1,146,160) 678,557
企業債	(257,300) 325,200	△ 20.9%	(366,700) 455,600	△ 19.5%	(410,100) 353,200	16.1%	(653,600) 472,300	38.4%	(842,700) 479,100
負担金	(30,631) 137,022	△ 77.6%	(7,642) 39,028	△ 80.4%	(25,065) 57,622	△ 56.5%	(44,829) 5,216	759.5%	(134,989) 3,500
補助金	(70,103) 70,104	0.0%	(120,152) 169,647	△ 29.2%	(113,602) 162,299	△ 30.0%	(111,242) 156,080	△ 28.7%	(123,211) 155,075
加入金	(42,725) 40,880	4.5%	(57,964) 40,880	41.8%	(43,319) 40,880	6.0%	(48,233) 40,880	18.0%	(45,258) 40,880
その他	(1,178) 1,181	△ 0.3%	(956) 958	△ 0.2%	(568) 570	△ 0.4%	(302) 304	△ 0.7%	(2) 2
資本的支出　D	(1,315,293) 1,544,176	△ 14.8%	(1,700,315) 1,781,060	△ 4.5%	(1,781,375) 1,599,451	11.4%	(1,791,332) 1,712,037	4.6%	(2,277,713) 1,736,006
建設改良費	(613,039) 841,920	△ 27.2%	(894,744) 976,279	△ 8.4%	(957,725) 790,097	21.2%	(957,755) 890,000	7.6%	(1,433,522) 897,000
元金償還金	(702,254) 702,256	0.0%	(805,571) 804,781	0.1%	(823,650) 809,354	1.8%	(833,577) 822,037	1.4%	(844,191) 839,006
不足額　(C−D)	(△ 913,356) △ 969,789	△ 5.8%	(△ 1,146,901) △ 1,074,947	6.7%	(△ 1,188,721) △ 984,880	20.7%	(△ 933,126) △ 1,037,257	△ 10.0%	(△ 1,131,553) △ 1,057,449
補塡財源残高	(912,915) 609,080	49.9%	(1,007,626) 505,415	99.4%	(759,121) 489,213	55.2%	(964,914) 520,604	85.3%	(753,287) 536,886
企業債残高	(10,228,615) 10,360,613	△ 1.3%	(11,455,759) 11,804,816	△ 3.0%	(11,003,008) 11,348,662	△ 3.0%	(10,513,332) 10,535,275	△ 0.2%	(10,222,642) 10,175,369

※上段（　）書きの令和元年度までは決算値、令和2年度は当初予算値、下段は、中期経営計画値(令和元年以降は変更計画値)
※資本的収支において、実績額には前年度からの繰越額は含めていないが、翌年度繰越額は含めている。

Ⅱ　下水道事業

下水道事業中期経営計画　事業進捗状況

◎ 実施完了　○ 実施中　△ 検討等を行った　× 実施できなかった　－ 該当なし

施策の方向性・重点施策・事業計画一覧

施策の方向性（基本目標）	重点施策	事業計画	事業費（百万円）（5か年）		進捗状況 H28	H29	H30	R1	R2	備考
1 快適な生活環境の保全に努めます	1 生活排水対策の推進	①未整備区域の下水道整備促進	1,219		○	○	○	○		
		②水洗化の促進	－		○	○	○	○		
	2 下水道施設の長寿命化	③長寿命化計画の策定	50	★新規事業	－	◎	◎	◎		
		④設備の計画的更新	1,271		○	○	○	○		
2 災害に強い都市基盤の整備に努めます	1 浸水対策の推	⑤雨水管路の整備促進	1,853		○	○	○	○		
	2 下水道の耐震化	⑥上下水道局BCP（事業継続計画）の策定	－	★新規事業	△	△	△	○		
3 環境に配慮した事業運営に努めます	1 下水道資源の有効活用	⑦資源・エネルギーの利活用についての調査研究	－		○	○	○	○		
	2 自然環境に配慮した施設・設備の推進	⑧高度処理施設の導入	1,933	★新規事業	○	○	○	◎		
		⑨水質浄化・保全基金の調査・研究	－	★新規事業	△	◎	◎	◎		
4 適正な業務運営と維持管理に努めます	1 適正な業務運営	⑩最適運営形態の検討	－		○	○	○	○		
		⑪収納率の向上	－		○	○	○	○		
	2 適正な維持管理	⑫下水道台帳管理システム活用による維持管理の効率化	7.5	★新規事業	△	○	○	○		
		⑬不明水調査及び修繕の実施	200	◆拡充事業	○	○	○	○		
	3 人材育成	⑭人材育成方針の策定	－	★新規事業	△	△	◎	◎		
5 サービスの向上と経営の安定に努めます	1 お客様のニーズに合ったサービスの充実	⑮積極的な情報発信	0.4		○	○	○	○		
		⑯小学4年生対象パンフレットの充実	0.4	◆拡充事業	○	○	○	○		
	2 経営基盤の強化	⑰中期経営計画の実施	－		○	○	○	○		

★新規事業、◆拡張事業は、前回計画(H24～H28)からの新規、拡張事業となります。

◎	0件	2件	3件	4件		
○	12件	13件	13件	13件		
△	4件	2件	1件	0件		
×	0件	0件	0件	0件		
－	1件	0件	0件	0件		

事業計画の進捗状況について（下水道事業）

1　快適な生活環境の保全に努めます

（1）生活排水対策の推進

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
①未整備区域の下水道整備促進	未普及地域で汚水管渠の整備を進めます。	R2 汚水整備率　92.1% H28～R2 整備延長　　14.5km 事業費　12億1,900万円	○実施中
			H28　整備率 89.7% 4.0km　4億3,600万円 （翌年度繰越分決算値を含む）
			H29　整備率 90.6% 2.1km　2億800万円 （翌年度繰越工事を含む）
			H30　整備率 90.7% 4.5km　3億700万円 （翌年度繰越工事を含む）
			R1　整備率 88.9% 1.4km　3億2,200万円 （翌年度繰越工事を含む）
②水洗化の促進	下水道の日に合わせPR期間を設定し、未水洗化家屋への戸別訪問を行います。	H28～R2 R2 水洗化率　97.8%	○実施中
			H28　水洗化率 97.3% マンホールカードを作成 下水道PR事業を実施
			H29　水洗化率 97.5% 下水道PR事業を実施
			H30　水洗化率 97.6% 下水道PR事業を実施
			R1　水洗化率97.8% 下水道PR事業を実施

（2）下水道施設の長寿命化

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
③長寿命化計画の策定 ★新規事業	ストックマネジメント手法を用いた長寿命化計画を策定します。	H29～H30 事業費　5,000万円	◎実施完了
			H28　計画策定準備のため、研修等により情報及び資料収集を実施
			H29　ストックマネジメント計画策定 3,000万円
④設備の計画的更新	長寿命化計画に基づき改築更新を行います。	R2 主要設備耐用年数超過設備率　26.8% H28～R2 処理場　　8億4,300万円 ポンプ場　4億2,800万円	○実施中
			H28　耐用年数超過設備率 42.1% 大村ポンプ場改築 2億3,300万円 （翌年度繰越分決算値を含む）
			H29　耐用年数超過設備率 42.6% 東浦汚水中継ポンプ場改築実施設計 500万円
			H30　耐用年数超過設備率 43.5% 東浦汚水中継ポンプ場改築他 5,800万円 （翌年度繰越分決算値を含む）
			R1　耐用年数超過設備率 41.2% 大村浄水管理センター汚泥脱水機械・電気設備改築工事他 4億3,200万円 （翌年度繰越分決算値を含む）

２　災害に強い都市基盤の整備に努めます。

(1)浸水対策の推進

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑤雨水管路の整備促進	浸水リスクが高いところを優先して雨水管路の整備を進めます。	R2 雨水整備率　58.6% H28～R2 整備延長　　12.8km 事業費　18億5,300万円	○実施中 H28　整備率 55.9% 0.7km　1億300万円 （翌年度繰越分決算値を含む） H29　整備率 56.2% 1.3km　2億6,900万円 （翌年度繰越工事を含む） H30　整備率 56.5% 0.9km　2億3,500万円 （翌年度繰越分決算値を含む） R1　整備率 55.7% 0.6km　1億3,600万円 （翌年度繰越分決算値を含む）

(2)下水道の耐震化

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑥上下水道局BCP（業務継続計画）の策定 ★新規事業	上下水道局BCPを策定するとともに、個別の危機管理マニュアルを策定します。	H28 計画の策定	○実施中 H28　他市の策定状況の調査研究を行った。 H29　研修に参加し、情報の収集を行った。 H30　計画案を協議した。 R1　計画策定中

３　環境に配慮した事業運営に努めます。

(1)下水道資源の有効活用

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑦資源・エネルギーの利活用についての調査研究	下水汚泥や下水熱などの資源やエネルギーの利活用について、引き続き調査・研究をします。	H28～R2	○実施中 H28　県が主催する汚泥処理に関する勉強会に参加し、県内自治体との情報交換を行った。 H29　汚泥処分業者が製造している下水汚泥再生肥料を、浄水管理センターで販売することで下水汚泥の利活用をPRした。 H30　県の汚泥処理構想作業部会において協議を行った。 R1　下水道連絡協議会（県央・県南エリア幹事会）において検討を行った。

(2)自然環境に配慮した施設・設備の推進

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑧高度処理施設の導入 ★新規事業	大村湾流総計画に基づき、高度処理施設を増設します。	R2 高度処理実施率 26% H28～R2 事業費　19億3,300万円	◎実施完了 H28　高度処理実施率　0% 1億8,700万円 （翌年度繰越分決算値を含む） H29　高度処理実施率　0% 5億900万円 （翌年度繰越工事を含む） H30　高度処理実施率　0% 4億5,200万円 R1　高度処理実施率　14% 7,800万円
⑨水質浄化・保全基金の調査・研究 ★新規事業	水質浄化・保全に資するため、基金等の制度導入について、調査研究を行います。	H28～R2	◎実施完了 H28　他市等の情報収集を行った。 H29　水質浄化・保全へ取組として、水質の条件を満たす排水企業に対し、新たな使用料金を設定した。（H30.4施行）

4　適正な業務運営と維持管理に努めます。

(1)適正な業務運営

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑩最適運営形態の検討	下水道事業における最適な運営形態のあり方について、引き続き検討し、個別委託や包括委託を進め、合わせて組織の見直しを行います。	H28～R2	○実施中
			H28　給排水申請について、水道事業との業務連携の検討を行っ
			H29　次期料金業務委託の業務内容の検討を行った。
			H30　次期料金業務委託をプロポーザル方式により業者決定を行っ
			R1　料金業務委託のR1から5か年の委託を実施した。
⑪収納率の向上	適正な債権管理を行うことにより、引き続き収納率の向上を図ります。	H28～R2 R2 収納率　99.4%	○実施中
			H28　収納率　98.9%
			H29　収納率　99.2%
			H30　収納率　99.1%
			R1　収納率　99.1%

(2)適正な維持管理

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑫下水道台帳管理システム活用による維持管理の効率化 ★新規事業	下水道台帳管理システムを活用し、効率的な維持管理や施設更新を行います。また、閲覧システムによる窓口サービスの向上を図ります。	H28～R2 事業費　750万円 ※H27導入(5,670万円)	○実施中
			H28　閲覧システム運用中
			H29　閲覧システム運用中
			H30　閲覧システム運用中
			R1　閲覧システム運用中
⑬不明水調査及び修繕の実施 ◆拡充事業	効率的に不明水調査を行い、調査結果を基に、発生箇所の止水や管更生工事等を実施します。	R2 有収率　91%以上 H28～R2 事業費　2億円	○実施中
			H28　有収率　88.0% 3,300万円
			H29　有収率　90.3% 2,900万円
			H30　有収率　90.5% 3,200万円
			R1　有収率　89.6% 6,800万円

(3)人材育成

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑭人材育成方針の策定 ★新規事業	上下水道局独自の人材育成方針を策定し、人材育成及び組織力強化を図ります。	H28	◎実施完了
			H29　人材育成方針(案)を作成した。
			H30　人材育成方針を作成した。

５　サービスの向上と経営の安定に努めます。

(1)お客様のニーズに合ったサービスの充実

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑮積極的な情報発信	積極的な情報発信を行い、市民の皆様から信頼される下水道事業を目指します。	H28～R2 HP更新:年4回 広報誌掲載：年4回	○実施中
			H28　ＨＰ更新　：年4回 広報誌掲載：年4回
			H29　ＨＰ更新　：年4回 広報誌掲載：年5回
			H30　ＨＰ更新　：年4回 広報誌掲載：年4回
⑯小学4年生対象パンフレットの充実 ◆拡充事業	小学4年生を対象とした水の循環に関するパンフレットを見直し、教育委員会と連携を図りながら水に関する関心を高めます。	H28～R2 1,200冊／年	○実施中
			H28　内容を見直し5か年分を作成 市内小学校配布 1,055冊/年
			H29　市内小学校配布 1,186冊/年
			H30　市内小学校配布 1,007冊/年
			R1　市内小学校配布 1,039冊/年

(2)経営基盤の強化

事　　業	内　　容	計画目標	進捗状況
⑰中期経営計画の実施	中期経営計画を確実に実施し、その効果を検証するとともに、結果を市民の皆様に公表していきます。	H28～R2	○実施中
			H28　進捗状況の確認を行った。
			H29　H28進捗状況を上下水道局ホームページにて公表した。
			H30　H29進捗状況を上下水道局ホームページにて公表した。
			R1　H30進捗状況を上下水道局ホームページにて公表した。

下水道事業中期経営計画財政収支状況

①収益的収支（税抜き）

（単位：千円）

区分	平成28年度	計画との比較	平成29年度	計画との比較	平成30年度	計画との比較	令和元年度	計画との比較	令和2年度
収益合計　A	(3,089,695) 3,159,848	△ 2.2%	(3,150,831) 3,109,201	1.3%	(2,914,680) 2,876,636	1.3%	(2,869,977) 2,833,032	1.3%	(2,895,932) 2,822,175
使用料収入	(1,839,197) 1,891,463	△ 2.8%	(1,881,917) 1,893,804	△ 0.6%	(1,697,328) 1,675,934	1.3%	(1,660,877) 1,639,536	1.3%	(1,677,952) 1,633,596
雨水処理負担金	(149,252) 284,768	△ 47.6%	(148,163) 278,906	△ 46.9%	(152,755) 155,419	△ 1.7%	(159,072) 150,086	6.0%	(177,016) 148,124
他会計補助金	(448,989) 318,474	41.0%	(438,414) 307,171	42.7%	(419,619) 416,952	0.6%	(400,459) 399,555	0.2%	(377,361) 389,818
長期前受金戻入	(616,118) 641,914	△ 4.0%	(650,380) 606,311	7.3%	(597,614) 603,409	△ 1.0%	(618,136) 621,093	△ 0.5%	(639,082) 627,874
その他	(36,139) 23,229	55.6%	(31,957) 23,009	38.9%	(47,364) 24,922	90.0%	(31,433) 22,762	38.1%	(24,521) 22,763
費用合計　B	(2,452,176) 2,523,915	△ 2.8%	(2,450,198) 2,525,682	△ 3.0%	(2,391,449) 2,489,159	△ 3.9%	(2,378,605) 2,474,553	△ 3.9%	(2,532,127) 2,478,058
維持管理費	(656,081) 756,499	△ 13.3%	(699,702) 806,722	△ 13.3%	(750,260) 814,469	△ 7.9%	(741,237) 791,185	△ 6.3%	(864,321) 797,754
職員給与費	(155,617) 168,148	△ 7.5%	(154,620) 168,136	△ 8.0%	(154,555) 168,690	△ 8.4%	(147,803) 171,538	△ 13.8%	(175,863) 174,452
修繕費等	(498,489) 586,126	△ 15.0%	(542,629) 635,894	△ 14.7%	(592,457) 642,659	△ 7.8%	(588,901) 615,720	△ 4.4%	(681,789) 619,307
その他経費	(1,975) 2,225	△ 11.2%	(2,453) 2,692	△ 8.9%	(3,248) 3,120	4.1%	(4,533) 3,927	15.4%	(6,669) 3,995
支払利息	(328,192) 337,080	△ 2.6%	(297,641) 315,442	△ 5.6%	(270,288) 279,032	△ 3.1%	(246,744) 268,287	△ 8.0%	(229,400) 251,624
減価償却費	(1,380,658) 1,377,970	0.2%	(1,360,411) 1,361,988	△ 0.1%	(1,339,837) 1,365,508	△ 1.9%	(1,332,549) 1,374,265	△ 3.0%	(1,379,571) 1,387,864
資産減耗費	(85,523) 41,519	106.0%	(91,579) 30,000	205.3%	(28,969) 19,319	50.0%	(56,312) 30,000	87.7%	(47,706) 30,000
特別損失	(1,722) 10,847	△ 84.1%	(865) 11,530	△ 92.5%	(2,095) 10,831	△ 80.7%	(1,763) 10,816	△ 83.7%	(11,129) 10,816
純損益（△損失）	(637,519) 635,933	0.2%	(700,633) 583,519	20.1%	(523,231) 387,477	35.0%	(491,372) 358,479	37.1%	(363,805) 344,117

②資本的収支（税込み）

区　　分	平成28年度	計画との比較	平成29年度	計画との比較	平成30年度	計画との比較	令和元年度	計画との比較	令和2年度
資本的収入　C	(1,164,702) 1,389,884	△ 16.2%	(1,073,114) 1,939,804	△ 44.7%	(1,159,777) 1,617,936	△ 28.3%	(1,218,513) 1,227,702	△ 0.7%	(1,170,354) 1,159,984
企業債	(568,100) 704,001	△ 19.3%	(470,600) 925,000	△ 49.1%	(549,000) 803,713	△ 31.7%	(545,300) 635,000	△ 14.1%	(682,100) 602,500
受益者負担金	(15,389) 16,337	△ 5.8%	(11,371) 13,829	△ 17.8%	(14,593) 19,175	△ 23.9%	(11,310) 10,995	2.9%	(15,813) 9,743
他会計補助金	(125,454) 120,453	4.2%	(121,711) 122,212	△ 0.4%	(116,523) 116,526	0.0%	(112,330) 122,220	△ 8.1%	(103,864) 117,854
国県交付金	(429,950) 482,850	△ 11.0%	(414,700) 812,520	△ 49.0%	(436,353) 576,695	△ 24.3%	(485,890) 434,485	11.8%	(276,125) 404,885
その他	(25,809) 66,243	△ 61.0%	(54,732) 66,243	△ 17.4%	(43,308) 101,827	△ 57.5%	(63,683) 25,002	154.7%	(92,452) 25,002
資本的支出　D	(2,485,318) 2,705,878	△ 8.2%	(2,748,871) 3,317,910	△ 17.2%	(2,709,526) 3,154,862	△ 14.1%	(2,491,092) 2,359,489	5.6%	(2,549,335) 2,248,903
建設改良費	(1,092,465) 1,314,292	△ 16.9%	(1,359,811) 1,929,393	△ 29.5%	(1,481,731) 1,927,063	△ 23.1%	(1,302,072) 1,164,366	11.8%	(1,374,082) 1,105,573
元金償還金	(1,392,853) 1,391,586	0.1%	(1,389,060) 1,388,517	0.0%	(1,227,795) 1,227,799	0.0%	(1,189,020) 1,195,123	△ 0.5%	(1,175,253) 1,143,330
不足額　(C−D)	(△ 1,320,616) △ 1,315,994	0.4%	(△ 1,675,757) △ 1,378,106	21.6%	(△ 1,549,749) △ 1,536,926	0.8%	(△ 1,272,579) △ 1,131,787	12.4%	(△ 1,378,981) △ 1,088,919
補塡財源残高	(1,760,628) 1,556,216	13.1%	(1,921,556) 1,640,912	17.1%	(1,890,732) 1,448,361	30.5%	(1,970,903) 1,515,623	30.0%	(1,706,485) 1,615,777
企業債残高	(14,809,835) 15,322,901	△ 3.3%	(14,057,976) 14,859,384	△ 5.4%	(13,573,880) 13,973,277	△ 2.9%	(12,879,660) 13,413,154	△ 4.0%	(11,917,191) 12,872,323

※（　）書きの令和元年度までは決算値、令和2年度は当初予算値、下段は中期経営計画値（平成30年度以降は変更計画値）
※資本的収支において、実績額には前年度からの繰越額は含めていないが、翌年度繰越額は含めている。